

JA 新潟厚生連歯科衛生士会・育成プログラム

	歯科衛生士業務の実践能力	組織的役割遂行能力	教育・研究能力
ステージ3 4年目以降	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師と連携し、特殊な口腔疾患や全身疾患との関連についても患者に説明でき、指導もできる。 ・様々な状況に合わせ、予測性を持った患者への声掛けができる。 ・器材類の知識や取り扱いについてスタッフに指導することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院システムについての問題点や改善点について考え、医療チームの一員としての役割を發揮できる。 ・感染管理・院内感染防止対策マニュアルに基づいて確実な行動ができ、部署の課題を把握し、スタッフに指導ができる。 ・患者支援チームの一員として専門性を發揮できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な臨床実習について連携がとれる。 ・スタッフ間と情報を共有し、指導に活かすことができる。 ・自己研鑽のために研修会等に参加し、業務に反映できる。 ・研究・論文作成の助言や指導ができる。
ステージ2 2～3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の全身状態を情報収集できる。 ・口腔内状況を観察し、全身疾患を類推できる。 ・歯科医師と連携し、具体的な問題点やケアについて患者に説明できる。 ・患者の状況を把握し、治療の流れに合わせた声掛けができる。 ・治療の流れを把握し、状況に合わせて的確な操作・取り扱いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の理念を理解し、職員としての自覚をもって行動する。 ・病院内での規則や取り決めに理解し、他科と連携できる。 ・病院の院内感染防止対策マニュアルに基づいて業務を実践し、見直すことができる。 ・歯科衛生士の役割を理解し、病棟スタッフと連携できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせた指導ができる。 ・自己研鑽のために研修会等に参加し、業務に反映できる。 ・研究内容を発表・論文の作成ができる。
ステージ1 1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の基本的な組織や機能について説明できる。 ・全身疾患の基礎知識を持ち、口腔内状況との関連を理解できる。 ・患者の状況を把握し、治療の流れに合わせた声掛けができるよう努力することができる。 ・使用する器材の基礎知識に基づき確実に取り扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の理念を理解し、職員としての自覚をもち指導ができる。 ・所属診療室の診療システムを患者に説明できる。 ・歯科医療における感染管理、病院の院内感染防止対策マニュアルについて理解し実践できる。 ・病棟との連携上での歯科衛生士の役割を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題を明確にし、自発的に学習に取り組むことができる。 ・臨床での研究の意義を理解でき、既存の研究に興味をもてる。